

無題（九）

宮本百合子

青空文庫

○温室の石井を呼びつける、

m 真中、右 石井（若い方 うなだれている）、左 石井

草の工合をきいているが 妙にからんで

「昨日よそへ行きましたら、カーネーションがのんですっかりよく育って居りましたよ
さし木をしてねエ、あれは温室でなくても育つと見えますねえ」

石「ずつと野天で生えているのをさし木すれば育ちます、種生はどうも……」
やがて

「奥さん、何かおこのみでこれを育てたいというような花がありましたら仰云って下さい」
「どうも 私どもは素人で一向わかりませんが、主人がいろいろその方の専門家を知
って居りますから……いつか博覧会の時でしたか 温室を専門にやった方で 今ではなか
なかそちらの方のオーソリティーだという方を知っているのですが……石井さん、ききま
せんでしたか？」

「さア、承って居りませんが」

「もし何でしたら その方にも伺って見たら又 何とか……」

自分 たまらなくなつて

「オーソリティーの問題じゃない」という。

m、きのう小声で「温室の石井つてのもインチキだね」という。

「何故？」

「だって、お前きつちり十二時に来るんだよ 一遍や二度ならだけれど……」

m、金を惜しくなつて来た。それを、そうスラリと云わずに

「温室のことで怒つたりしては 彼の意志に反する」とか、又このようなカラミでやる。

つまり石井をことわつたらしい。

○mが彼というとき、聞くものは体のどこかを突かれたような感じをうけ、いやで毒々しく感じた。英男とはまるで内容の違う彼 母流の彼（いやみな）を感じ、はずかしかった。

○その午後 バスケツトに入れて 猫を貰つて来た。

「幸福なところへ行くんだ」

ところが、逃げ出し いくらまつてもかえつて来ない。

「困つたね」

キク「本当に、お話も出来ませんね」

夜仕事をしていると「ハナレ」

「一寸お話がごきますから」と来る。

「猫のことだがね、私の家には猫を飼わないよ、お前の家なら御勝手だが……」

「逃げちゃった」

「逃げたでいいならかまわないがね……」

「それから その机の上を片づけて、テーブルかけを出しておくれ」

何故そのテーブルかけがあるのかわけがわからない。

「今徹夜する程いそがしいのだから、二三日してすっかりかたづけましょう」

今机がいるのではないらしいから

「——私はもう行くよ」

「それなら尚問題ない」

「ああ、私が居なくなればいつも問題はないよ」

アセモに粉をふらしている。女中二人

「私のくびも出来た」というと

「へえ、お前のような強情な人はアセモの方がおそれをなすと思うと　そうでもないね」

「やっぱり　人間の皮がはつてあると見えるねエ」

「象の皮でもはつてあるかと思うと……」

○テーブルかけのことにしろ　イジわるい　というのは成程こういうのかと思う。全然目的がわからない。

○女中たち　だから感ぜず、鈍く、馬鹿になって動いている。働いているのではない。

○生活の恐ろしい侮辱である。

○こういうおふくろ

○父、なぐさまず、風流でもすく

　　金と云つて、娘とくうのはたのしみ

○妹よろしくたかる

○弟　長男根性

○よめ

○自分、

○ゴリキイの伝を聞いて居て自分の感じたことは、自分はまだまだ或人をその人として観る力に欠けているということである。

鋭く感じる、判断する、そして通りすぎるとしたら、作家であろうか。いい、わるい、すき、きらい。それでファイルすると、いつか感受性は鈍く、厚く、反復的となる。

つよさは底入れとなれ

敏感に——だがすぐかたづけけるな

親父の薄はかさはここだ

○大衆的活動へのうつりかわり

重く、やつこらとトロツコを別のレールにのせるような努力。

青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集 第十八巻」新日本出版社

1981（昭和56）年5月30日初版発行

1986（昭和61）年3月20日第2版第1刷発行

初出：同上

入力：柴田卓治

校正：磐余彦

2004年2月15日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたってのは、ボランティアの皆さんです。

無題（九）

宮本百合子

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>